

環境未来都市提案書概要(様式2)

目指すべき将来像【1. (1)】:「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」が実現し、効率的な都市施設の維持管理・更新や行政サービスの提供が可能になっている。市民生活の面では、商業、娯楽、文化施設など都市機能が近くにある利便性の高い生活や最寄り駅・バス停を中心とした、歩いて暮らせる人間中心の快適なまち、スローライフの場としての農山村での暮らしが実現。産業活動の面では、国際競争力のある「業都 とやま」や再生可能エネルギー型産業の振興が実現。本市が目指す都市のかたち(公共交通を軸とした都市構造)は、市街地の外延的拡大と自動車交通への過度な依存を背景に、全国の地方都市でコンパクトなまちづくりが検討される中で、モデルとして確立、普及。

① 課題・目標・取組方針【1. (2)】	② 課題・目標・取組方針【1. (2)】	③ 課題・目標・取組方針【1. (2)】	④ 課題・目標・取組方針【1. (2)】	⑤ 課題・目標・取組方針【1. (2)】
<p>&lt;分類&gt;環境-1 &lt;課題・目標&gt; 課題: 全国の県庁所在都市において最も低密度な市街地の形成、移動における自動車への高い依存と公共交通の衰退 目標: 自動車から公共交通、徒歩・自転車への転換、戸建から集合住宅への住み替えによるCO2削減 &lt;取組方針&gt; ●公共交通の利便性の向上 ●中心市街地や公共交通沿線での多様な魅力的な生活環境の形成</p>	<p>&lt;分類&gt;環境-2 &lt;課題・目標&gt; 課題: 化石燃料に依存したエネルギーインフラの脆弱性、労働力人口の減少を背景とした将来的な経済力・財力の低下 目標: 再生可能エネルギーを活用した産業振興による経済と環境の好循環の形成 &lt;取組方針&gt; ●再生可能エネルギーを活用による産業振興 ●廃棄物由来再生可能エネルギーの活用による産業活動の効率化</p>	<p>&lt;分類&gt;超高齢化-1 &lt;課題・目標&gt; 課題: 生産の調達先を海外に高く依存していることによる原料調達の不安定化、医薬品配置従事者の高齢化・担い手不足を背景とした伝統産業の衰退 目標: 富山産の生薬のブランド化、医薬品産業の拠点形成、医薬品配置業の伝統を活かした健康増進の仕組みづくり &lt;取組方針&gt; ●バイオテクノロジーを活用した生薬生産システムの構築 ●生薬・漢方関連産業の拠点形成 ●医薬品配置販売の活性化と担い手育成</p>	<p>&lt;分類&gt;超高齢化-2 &lt;課題・目標&gt; 課題: 高齢化を背景とした福祉従事者の負担及び社会保障費の増加、団塊世代が高齢化するなかで、車を自由に運転できない高齢者等の増加 目標: 介護・福祉とまちづくりの連携を通じた高齢者が、健康で自立した生活を営むことができる環境の実現、自動車に依存しなくても、日常の生活サービスが利用できる生活環境の形成 &lt;取組方針&gt; ●歩いて暮らせる健康・福祉のまちづくり ●最先端技術の活用と、人との触れ合いによる介護予防・在宅支援サービスの充実</p>	<p>&lt;分類&gt;その他 &lt;課題・目標&gt; 課題: 農林業における生産者の高齢化・後継者不足による衰退、森林の荒廃による災害の防止や水源の涵養、生物の生息など、森林機能の低下 目標: 地域資源を活用した健康食品等の商品開発による輸出産業の育成、森林資源の有効活用による森林地域の活性化、市民参加による森づくりを行う仕組みの構築 &lt;取組方針&gt; ●農商連携による富山ブランドの育成 ●健康機能食品の開発支援 ●森林資源の有効活用による林業の自立モデルの構築 ●里山再生を担う人材育成拠点の整備</p>
<p>5年以内に実施する取組内容【2. (1)】</p> <p>a. LRTネットワークの形成 ●富山ライトレールと市内電車の接続 ●富山地方鉄道と連続LRT化(構想) ●富山ライトレールの複線化 ●市内電車環状線での電停新設</p> <p>b. 異なる交通モード間の連携強化 ●駅前広場の整備や鉄軌道駅周辺におけるパークアンドライド駐車場の設置</p> <p>c. 公共交通軸としてのバス交通のサービス水準充実 ●ノンステップバス車両の導入やハイグレードなバス停の重点的・先導的整備</p> <p>d. セーフ&amp;環境スマートモデル街区の整備 ●環境配慮型住宅やソーラー発電設備 ●生活道路等のバリアフリー化やユニバーサルデザイン化 ●商業・医療・福祉施設などの生活に必要な施設の配置</p> <p>e. ヘルシー&amp;交流タウンの形成【再掲】 ●交流の場となる休憩設備の設置や飲食店等の誘致 ●安全・安心・快適な歩行者ネットワークの形成</p> <p>f. 交通空間の利活用交流推進【再掲】 ●トランジットモータリックな賑わい空間づくり</p> <p>g. 高齢者、障害者等に配慮した路面電車施設の整備【再掲】 ●ユニバーサルデザイン対応の停留場の整備</p> <p>h. 地域コミュニティ主体の交流空間の整備・運営モデル【再掲】 ●地域コミュニティが主体となって、空き地等を農園や広場等として再生、管理運営するコミュニティガーデンの仕組みのモデルづくり</p>	<p>5年以内に実施する取組内容【2. (1)】</p> <p>a. 海洋バイオマスを使った自律型エネルギー・資源循環システムの導入 ●高効率藻類培養システムの設置 ●有用物質の抽出技術の開発 ●バイオマスエネルギーの精製</p> <p>b. バイオガスネットワークによるエネルギー循環システムの整備 ●パイプライン(バイオガスネットワーク)の敷設</p> <p>c. 再生可能エネルギーを活用した農業活性化 ●土地改良区による小水力発電等のクリーンな電力の発電施設の整備</p> <p>d. エコフォレストとやま(林地集約化事業)【再掲】 ●民有林人工林を買収・集約化し、新たな林業経営体を設立して、林地の資源を活用したビジネスモデルを構築</p> <p>e. 奥羽丘陵での「人と自然との共生&amp;再生可能エネルギー」フィールドミュージアム形成【再掲】 ●体験型環境教育プログラムの開発 ●企業に対して先進的な再生可能エネルギー設備をPRする場の提供</p>	<p>5年以内に実施する取組内容【2. (1)】</p> <p>a. 業都とやま生薬栽培工場の構築 ●最先端のバイオ技術生産管理システムの構築 ●新たな地域ブランド・地域産業モデルとして確立</p>	<p>5年以内に実施する取組内容【2. (1)】</p> <p>a. ヘルシー&amp;交流タウンの形成 ●交流の場となる休憩設備の設置や飲食店等の誘致 ●安全・安心・快適な歩行者ネットワークの形成</p> <p>b. 交通空間の利活用交流推進 ●トランジットモータリックな賑わい空間づくり</p> <p>c. 高齢者、障害者等に配慮した路面電車施設の整備 ●ユニバーサルデザイン対応の停留場の整備</p> <p>d. 地域コミュニティ主体の交流空間の整備・運営モデル ●地域コミュニティが主体となって、空き地等を農園や広場等として再生、管理運営するコミュニティガーデンの仕組みのモデルづくり</p> <p>e. LRTネットワークの形成【再掲】 ●富山ライトレールと市内電車の接続 ●富山地方鉄道と連続LRT化(構想) ●富山ライトレールの複線化 ●市内電車環状線での電停新設</p> <p>f. 異なる交通モード間の連携強化【再掲】 ●駅前広場の整備や鉄軌道駅周辺におけるパークアンドライド駐車場の設置</p> <p>g. 公共交通軸としてのバス交通のサービス水準充実【再掲】 ●ノンステップバス車両の導入やハイグレードなバス停の重点的・先導的整備</p>	<p>5年以内に実施する取組内容【2. (1)】</p> <p>a. 農商連携による環境と健康をテーマとした多様なビジネスの推進 ●低炭素農業による農産物の認証制度 ●農商連携推進事業 ●ヘルシーモールの開設 ●6次連携クラスター事業 ●富山型CSA(地域支援型農業)導入</p> <p>b. エコフォレストとやま(林地集約化事業) ●民有林人工林を買収・集約化し、新たな林業経営体を設立して、林地の資源を活用したビジネスモデルを構築</p> <p>c. 奥羽丘陵での「人と自然との共生&amp;再生可能エネルギー」フィールドミュージアム形成 ●体験型環境教育プログラムの開発 ●企業に対して先進的な再生可能エネルギー設備をPRする場の提供</p> <p>d. 再生可能エネルギーを活用した農業活性化【再掲】 ●土地改良区による小水力発電等のクリーンな電力の発電施設の整備</p>

複数の課題・目標を一体的に進める事項(相乗効果や副次的効果についての簡単な解説を含む)【1. (3)①】  
 ・<①、④> 効率的な都市施設の維持管理・更新や行政サービスの提供が可能となる効果、人口密度の高まりを背景に顧客との近接性を重視するビジネスが集積・創造される効果、市街地周辺の自然的空間が保全される効果  
 ・<②、③、⑤> 分散型エネルギーの充実による災害時のエネルギーのリダンダンシーの確保、農林業の活性化を通じた国土保全機能の向上